

平成29年度 学校評価 生徒・保護者・職員・学校関係者 アンケート集計結果

熊本県立ひのくに高等支援学校

質問			生徒	保護者	職員	平均	学校関係者
1	生徒 保護者 職員/学校関係者	私は本校で学べてよかったと感じている。 本校に入学させて良かった。 生徒は、目的を持って通学することができている。	1.36	1.83	1.06	1.42	1.75
2	生徒 保護者 職員/学校関係者	本校の学習や学校行事は、自分の将来のために役立っている。 本校の学習や学校行事は、子どもが社会生活を送るうえで十分な内容である。 本校の学習や学校行事が生徒が社会生活を送るうえで十分な内容であるよう工夫改善に努めている。	1.42	1.65	1.39	1.49	2.00
3	生徒 保護者 職員/学校関係者	授業はていねいでわかりやすい。 教師は、子どもの実態に応じて、ていねいにわかりやすい授業を行っている。 生徒の特性に応じて教材・教具を作成するなど、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	1.18	1.61	1.11	1.30	1.75
4	生徒 保護者 職員/学校関係者	困ったときや不安なときは先生に相談することができる。 教師は、生徒の実態や特性の理解に努め、親身になって相談に応じている。 生徒の実態把握に努め、生徒や保護者からの相談に適切に対応している。	0.77	1.70	1.41	1.29	1.50
5	生徒 保護者 職員/学校関係者	本校は、いじめの根絶に向けて真剣に取り組んでいる。 教職員は、いじめの根絶に向けて、いじめの未然防止や早期発見、課題解決に積極的に取り組んでいる。 本校は、いじめの根絶に向けて、いじめの未然防止や早期発見、課題解決に積極的に取り組んでいる。	1.15	1.50	1.70	1.45	1.75
6	生徒 保護者 職員/学校関係者	本校の生徒は、生活の規律(あいさつや服装、携帯・スマホ利用、ルール、マナー)を守ることができている。 本校の生活指導(あいさつや服装、ルール、マナー、携帯・スマホの利用など)は適切である。 本校は、生徒の実態や特性をふまえた生徒指導ができている。	0.72	1.55	1.46	1.24	1.75
7	生徒 保護者 職員/学校関係者	先生方は、働くことや卒業後の生活などについて、わかりやすく教えてくれる。 本校のキャリア教育(就労支援など)は適切である。 本校は、生徒の実態や特性をふまえてキャリア教育に取り組んでいる。	1.53	1.59	1.20	1.44	1.50
8	生徒 保護者 職員/学校関係者	本校は、学びやすい学校にするため、美化活動に取り組んでいる。 学校の環境は、いつもきれいに整備されている。 教職員は、積極的に美化作業に取り組み、よりよい学校環境作りに努めている。	1.34	1.84	1.61	1.60	2.00
9	生徒 保護者 職員/学校関係者	本校は、自他の命の大切さや心身の健康について学ぶことができる。 本校は、自他の命の大切さや心身の健康保持に関する教育が充実している。 教職員は、自他の命の大切さや心身の健康保持に関する教育に計画的に取り組んでいる。	1.38	1.57	1.27	1.41	0.75
10	生徒 保護者 職員/学校関係者	本校の防災教育や安全教育をとおして、災害時の行動が理解できている。 本校の防災教育や安全教育は、災害時の子どもたちの適切な対応に役立っている。 本校の防災教育や安全教育は、実践的で充実している。	1.52	1.58	1.33	1.48	1.50
11	生徒 保護者	寄宿舎の生活は充実している。〈寄宿舎生のみ回答〉 寄宿舎での指導・支援は適切である。〈寄宿舎生の保護者のみ回答〉	0.87	1.70		1.29	
平均			1.23	1.64	1.35	1.41	1.63
回収率			100.00%	96.23%	100.00%		80.00%

※数値化の方法: 「4 十分達成」→2点、「3 おおむね達成」→1点、「2 やや不十分」→-1点、「1 不十分」→-2点、の配点で加算したものを、回答人数で除算した数値です。  
なお、「0 わからない」は0点とし、回答人数に含めています。また、未記入の場合も0点としていますが、回答人数には含めていません。